

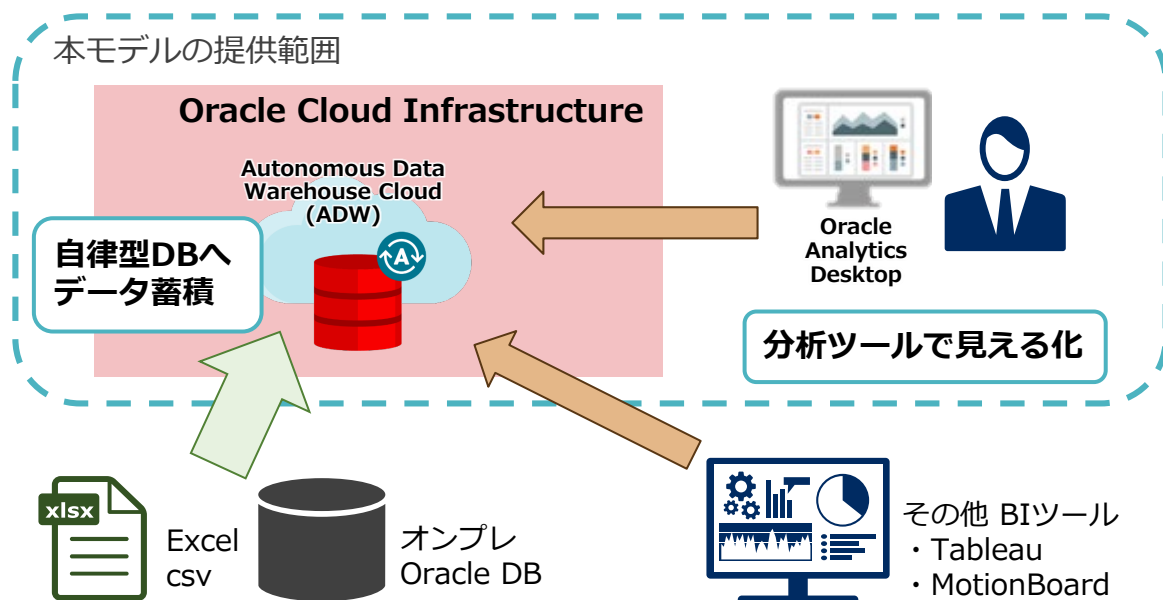
Oracleではじめるデータ活用！ 初年度300万円標準モデル

時間と手間のかかっていたDBのライフサイクルに関する運用業務からDB管理者を解放する、Oracleの自律型DB「Autonomous Database」。

この自律型DBを使って簡単な見える化まで実現できるモデルをご用意しました。この機会にデータ活用の第一歩を踏み出しましょう！

本モデルによるデータ活用のイメージ

- DBの設計・構築スキルがなくても高速なDWHが利用可能
- パッチの適用、障がいの調査・対処といった運用も自動化
- 分析ツールで蓄積したデータを簡単に見える化



モデル価格

| 名称 | 価格 |
|---|-----------------|
| Oracle Database Standard Edition 2 1 Processor (Oracle Cloud - Universal Credit BYOL利用限定) | ¥1,200,000 |
| NEC Cloud Service based on Oracle | ¥1,800,000 (※1) |

初年度合計
3,000,000円

※1

Autonomous Data Warehouse(ADW) 1TB, 40CPUを24h/365d動かす想定 of 価格です。ADWにはOracle Analytics Desktopの使用権が含まれます。

※次年度以降の費用はライセンス保守費用(¥388,800)及びクラウド利用料(¥1,800,000)の合計¥2,188,800/年となります。

NEC Cloud Service based on Oracle

- NECによる技術サポート・サービスとOracle Cloudをセットにしたクラウドサービス
- 約30,000ユーザへサポートサービスを提供してきた豊富なOracle導入経験をもとに、包括的な技術サービスをご提供。

NECによる技術サポート・サービス

企画

設計

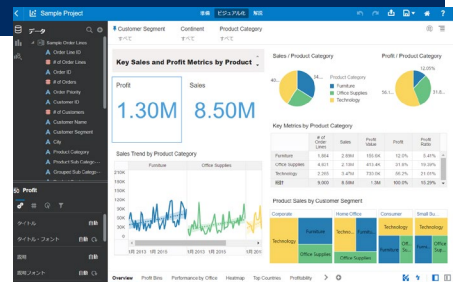
構築

運用

企画から運用までカバーするサービスを提供

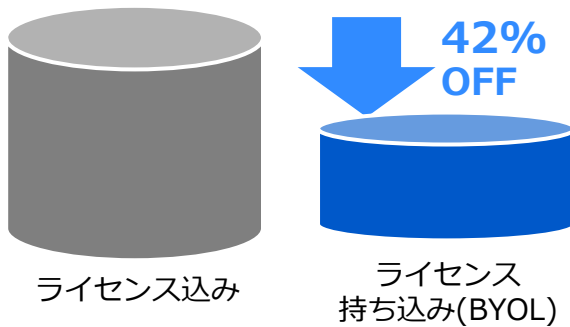
分析ツール Oracle Analytics Desktop

- 直感的な操作で多彩な分析が可能なデスクトップ版分析ツール
- Autonomous Data Warehouseの契約があれば無償で利用できるため、蓄積したデータの見える化まで実現可能



Oracle CloudへのBYOLはこんなにお得

● Oracle Cloudにライセンスを持ち込んだ場合のコスト比較



圧倒的に低価格！

● 自律型データベース・クラウドにライセンスを持ち込んだ場合の機能比較

| 機能 | オンプレミス SE2 | 自律型DBクラウドへ BYOL |
|--------|------------|-----------------|
| 基本性能 | ○ | ○ |
| 可用性 | × | ○ ↑UP |
| 性能 | × | ○ ↑UP |
| セキュリティ | × | ○ ↑UP |

高機能をフル活用！

本資料に関するご留意事項

- Oracle Database Standard Edition 2のライセンスは2021/5/17受注分(2021/5/31出荷分)まで適用可能な用途限定 廉価版ライセンスの利用前提となります。
- NEC Cloud Service based on Oracleの価格は2020/11/20現在のものです。
- Autonomous Data Warehouseが稼働するための最低限必要な構成のみの価格であるため、クラウド環境のデリバリーやユーザ作成をはじめ、ネットワーク、セキュリティなどの構成や設定は含まれておりません。
- 耐障害性確保を行う場合には複数サーバでの運用を推奨します。

お問い合わせ

NEC AIプラットフォーム事業部 データ活用基盤[Oracle]

E-mail: info@sdp.jp.nec.com

- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品の輸出（非居住者への役員提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。
- 本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更すること